

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【公表番号】特表2013-502420(P2013-502420A)
 【公表日】平成25年1月24日(2013.1.24)
 【年通号数】公開・登録公報2013-004
 【出願番号】特願2012-525628(P2012-525628)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 K 45/06 (2006.01)
 A 6 1 P 3/10 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 C 0 7 K 16/28 (2006.01)
 C 0 7 K 14/705 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 39/395 D
 A 6 1 K 39/395 N
 A 6 1 K 45/06
 A 6 1 P 3/10
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 C 0 7 K 16/28 Z N A
 C 0 7 K 14/705

【手続補正書】
 【提出日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

2型糖尿病の治療用医薬組成物であって、
前記医薬組成物は、可溶性NKG2D、NKG2Dと特異的に結合する抗体またはその抗原結合断片、NKG2DリガンドおよびNKG2Dリガンドの活性または発現の阻害剤からなる群から選択される有効量の薬剤を含み、
前記医薬組成物は、NKG2Dの活性化またはシグナル伝達を阻害することを特徴とする医薬組成物。

【請求項2】

2型糖尿病の治療用医薬組成物であって、
前記医薬組成物は、可溶性NKG2D、NKG2Dと特異的に結合する抗体またはその抗原結合断片、NKG2DリガンドおよびNKG2Dリガンドの活性または発現の阻害剤からなる群から選択される有効量の薬剤を含み、
前記医薬組成物は、NKG2Dリガンドの結合相互作用を遮断することを特徴とする医薬組成物。

【請求項3】

NKG2Dの阻害を介して制御または正常化され得る病態の治療用医薬組成物であって

、
前記病態は、2型糖尿病、心血管疾患、炎症性疾患および代謝機能不全関連疾患からなる群から選択され、

前記医薬組成物は、可溶性NKG2D、NKG2Dと特異的に結合する抗体またはその抗原結合断片、NKG2DリガンドおよびNKG2Dリガンドの活性または発現の阻害剤からなる群から選択される有効量の薬剤を含み、

前記医薬組成物は、NKG2Dの活性化またはシグナル伝達を阻害することを特徴とする医薬組成物。

【請求項4】

NKG2Dの阻害を介して制御または正常化され得る病態の治療用医薬組成物であって

、
前記医薬組成物は、可溶性NKG2D、NKG2Dと特異的に結合する抗体またはその抗原結合断片、NKG2DリガンドおよびNKG2Dリガンドの活性または発現の阻害剤からなる群から選択される有効量の薬剤を含み、

前記病態は、2型糖尿病、心血管疾患、炎症性疾患および代謝機能不全関連疾患からなる群から選択され、

前記医薬組成物は、NKG2Dリガンドの結合相互作用を遮断することを特徴とする医薬組成物。

【請求項5】

前記対象はヒトであることを特徴とする、請求項1から4のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項6】

前記医薬組成物は、NKG2Dと特異的に結合する抗体またはその抗原結合断片であることを特徴とする請求項1から5のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項7】

前記抗体またはその抗原結合断片はヒトまたはヒト化であることを特徴とする請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項8】

前記抗体またはその抗原結合断片は、ヒトNKG2D(hNKG2D)と結合することを特徴とする請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項9】

前記抗体またはその抗原結合断片は、NKG2Dにより仲介されるNKG2D発現細胞の活性化またはシグナル伝達を低下させることを特徴とする請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項10】

前記抗体またはその抗原結合断片は、NKG2Dとの結合において、少なくとも1種のNKG2Dリガンドと競合することを特徴とする請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項11】

前記NKG2Dリガンドは、MICA/Bであることを特徴とする請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項12】

前記医薬組成物は、前記対象において以下：血糖値降下、耐糖能の改善、インスリン抵抗性の低下、体重の減少、血圧低下、炎症低下および代謝機能不全の減少の少なくとも1つをもたらすことを特徴とする請求項1から11のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項13】

前記医薬組成物は、静脈内、腹腔内または皮下に投与されることを特徴とする請求項1から12のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項14】

抗糖尿病薬、抗肥満薬、食欲制御薬、抗高血圧薬、糖尿病に起因または関連する合併症の治療および/または予防のための薬剤、ならびに肥満に起因または関連する合併症およ

び障害の治療および/または予防のための薬剤からなる群から選択される、少なくとも1種のさらなる薬剤をさらに含むことを特徴とする請求項1から12のいずれか一項に記載の医薬組成物。